

平成四年十月二十八日発行
第二七〇号

大豊町中央公民館編集
印刷高知印刷株式会社

大豊 館報

九月末の人口	世帯数
世帯	三、一二六戸
男	三、六三九人
女	四、一一六人
人口	七、七五五人



東庵谷・吉村さんの献穀田上々の出来栄え、稲刈り作業

文化の秋・スポーツの秋・行楽の秋

11月8日(日) 町民体育祭
11月22日(日)・23日(月) 町民文化祭

農繁期等でお忙しい事と思いますが、「ゆとり」をもって、秋を
エンジョイして下さい。 大豊町教育委員会生涯学習課

東庵谷・献穀田・抜穂式 献穀米上々の出来

館報二六八号で紹介しましたが、今年、高知県から献穀者として、本町の東庵谷「吉村優一・沢子さんご夫妻」が選ばれ、五月二十二日、吉村さんの水田（1アール）で田植えの儀式が行われました。

その後、ご夫妻が丹念に一

株一株にネットを掛けるなどして、害虫や風・水害から守るなど、誠心誠意の努

力をし育て上げた稻（黄金錦の苗）も実

りの秋を迎えた。

穀米の抜穂式

が、九月三十日に行わられま

した。

式典には、渡辺町長や県・農協などの関係者六十名余り

が参列。

吉村さんと早乙女五人や参

列者が真剣な面持ちで水田に入り、一株一株を丁寧に刈り

とりました。

刈り取った稲穂は、普及所



辞苑にあります。



大豊支所等で管理精米され、十一月五日、吉村さん夫妻と渡辺町長が上京し、皇居で行われる新嘗（にいなめ）祭に献上されます。

◎一口メモ『新嘗祭』 天皇が新穀を天神地祇にすすめ、また、親しきこれを食する祭儀。古くは

陰曆十一月中の卯の日に行われた。近時は十一月二十三日に行われ祭日とされ

たが、現制では、この日を「勤労感謝の日」として国民の祝日に加えたと、広

く、岡本修一（五十五歳）・三谷勇太郎（五十四歳）両氏が、九月定例町議会において満場一致で選任され、十月一日付にて、大豊町教育委員に任命されました。

◎就任のあいさつ

岡本修二（穴内三区）



この度、不肖私が町長さん

・町議会議員の皆様方のご推举を頂き、教育委員に選任を頂きましたが、その責務の重大さを痛感しております。

もともとこの器ではございませんが、今日における教育現場の現状等々を勉強し、大豊町に即した教育環境づくりに精いっぱいの努力を致す所存でござります。

今後とも、町民の皆様方のご理解とご指導をお願い致します。

町教育委員、小笠原美身（立川三谷）・豊永幸利（落合）両氏の任期満了に伴い新しく、岡本修一（五十五歳）・三谷勇太郎（大畠井）が、九月定例町議会において満場一致で選任され、十月一日付にて、大豊町教育委員に任命されました。

町民各位のご指導ご協力をお願い致しまして、就任のご挨拶とさせて頂きます。

町教育委員に

岡本修二氏を選任

三谷勇太郎（大畠井）この度、町教育委員の任期満了に伴い、その後任としまして、町当局・町議会議員各位のご推薦を頂き、浅学非才の私が教育委員に任命されました。

生涯学習時代と言われる今日の教育行政についての知識も乏しい私ですが、学校現場と地域社会、そして行政とのパイプ役としての一端を重視し、その責務を果たす所存でございますが、今更のように

責任の重大さを痛感致しております。

今後とも、町民の皆様方の

ご理解とご指導をお願い致しまして、ご挨拶に代えさせて頂きます。

苦楽とともに五十年

金婚おめでとうございます

恒例の第三十五回「高知新聞社主催」の金婚式典が、九月一日、県下六会場で盛大に行われました。

本町から申し込みのあった
十一組のご夫婦が会場の「三
翠園ホテル」に出席、金婚の祝
福を受けました。

一 口に五十年と い ま す
が、あの太平洋戦争中の昭和
十七年に結婚され、昭和二十



年の終戦、戦後の混乱期、高度経済成長等々厳しい時代を共に手をとりあって、ガンバッテ来られたご夫婦です。

年〇〇年
車の運転免許
度経済成長等々厳しい時代を
共に手をとりあって、ガンバ
ツて来られたご夫婦です。
いつまでも、元気で幸せな
日々を送られますよう心から
お祈り申し上げます。



穴 内



八 故



桧 生
和田重信・夏子さん夫婦

金婚式に出席された
ご夫婦の紹介です



小川
西山近嘉・千万子さん夫婦



東土居
大家千代吉・波留喜さん夫婦



八 敵



久寿軒
釣井徳一・要さん夫婦



筏木
算操・阿婆子さん夫婦



川口
石川良水・光与さん夫婦



角茂谷
江間春継・誠意さん夫婦



八 故

長寿番付ベスト10										町内での長寿の方々を生年月日により紹介します。										
◎ 横綱					男 性					◎ 横綱					男 性					
前頭	小結	関脇	大関	横綱	前頭	小結	関脇	大関	横綱	前頭	小結	関脇	大関	横綱	前頭	小結	関脇	大関		
六	五	四	三	二	一	前頭	小結	関脇	大関	◎ 六	五	四	三	二	一	前頭	小結	関脇	大関	
西岡	石川	小林	三谷	篠岡	吉川	吉川	三谷	豊永	岡田	灌川	北村	豊永	三谷	芳男	堺茂	北村	大楠	程波	浅市	
花	國恵	松於	上江	幸女	英子	岩	三谷與志恵	性	丁野小ハル	助市	渡	正志	傳吉	芳男	堺茂	大楠	大楠	大楠	浅市	
い。	◎長寿おめでとうございます。お元気で長寿をまつどうして下さ	95歳	96歳	96歳	96歳	96歳	96歳	96歳	97歳	97歳	97歳	91歳	92歳	92歳	92歳	92歳	93歳	93歳	93歳	97歳
(九月末現在調べ)	（九月末現在調べ）	本村	大久保	谷	大豊園	八畠原	岩	奥大田	怒柳	高須	住浦	日浦	怒落	立合	大豊園	大豊園	三津子野	大畑井	土居	

第12回大豊町社会福祉大会

ボランティアでつくる福祉の町

町社会福祉協議会（会長・

都築康代）では、例年「社会福
祉大会」を開き、福祉活動の重
要性を呼びかけていますが本

年も、去る八月三十日、農工
センターに五百人余りが参加
し盛大に開催されました。

大会趣旨

『大豊町における高齢化の
進行は著しく、老人をはじめ
住民の福祉に対する関心とニ
ーズの多様化が高まっています。『健康で住みよい町づく

開会式

開会式の後、十時より高松

市（正信寺住職・安本先生）
による「二度とない人生だか
ら」と題した講演。午後から
は、老人クラブやボランティ
アによる芸能大会などが行わ
れ、楽しい一日を過ごしてい
ました。

町農工センター開会式

◎大会にての表彰受賞者紹介

町長表彰【優良高齢者】

並川長水 七十六歳 杉

高木福松 七十七歳 西土居
三谷芳広 七十八歳 西川



優良高齢者、町長表彰

高木福松 七十七歳 西土居
三谷芳広 七十八歳 西川
【在宅介護者】
 笹岡八重子 八畠



優良高齢者、町長表彰

富山行盛さん（磯谷）
熱演、どじょうすくい



生の音楽で バロックコンサート 開催

【カラオケセット寄付者】
 大豊町商工会青年部 高須
 手をつなぐ親の会感謝状

保口 敏恵 東土居
吉川 正子 奥田
山口 旦子 東庵谷
三谷 勝喜 三谷
小笠原伊勢美 八川
 【ねたぎり介護者】
 大豊町商工会青年部 高須
 奥田 東庵谷
 山口 三谷
 三谷 勝喜 八川
 小笠原伊勢美 八川
 【高額寄付者】
 東土居

以上の方々が、それぞれの
功績により受賞されました。
今後とも、社会福祉活動に
対し、ご理解とご協力を下さ
いますようお願い致します。

【高額寄付者】

高須

九月十三日、農工センター
にて、生の音楽を楽しんでも
らおうと「四国フィルハーモ
ニー管弦楽団」専属・常任指
揮者の豊島和史、チェンバロ
奏者で高知市の北村真実先
生、ソロ室内奏者の伊藤奈由
美、同、村山恵子ら各先生に
よるバロックコンサートが開
かれました。

バロックとは（ルネサンス
以後イタリアにおこり十七、
十八世紀にヨーロッパに広ま
った芸術様式）の音楽と言う
意味だそうです。

会場には、七十名余りの音
楽ファンが集い、フルートや
バイオリンなどの音色と、ヨ
ーロッパの格調高い音楽に聴
きっていました。

第二十一回嶺北総合美術展

特選二点・褒状六点・入選三十六点

芸術の秋をいろいろと嶺北総合美術展の審査会が、十月十六日、本川村にて行われ、本町からは、各部門に七十点の力作が出品されました。

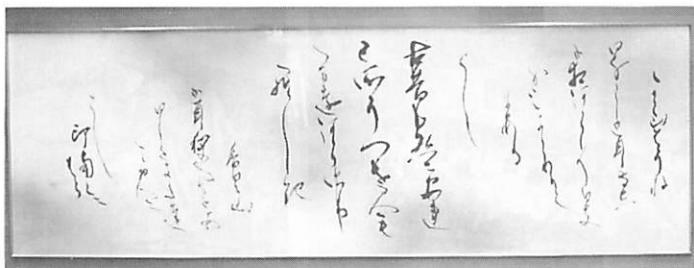
本川村の審査会場では、各町村から出品された作品を、それぞれの部門に分け、四人の先生方により厳正な審査が行われ、本町では次の方々が入賞されました。

☆書道の部

特選	西村佳子	東土居
褒状	小川美也	高須
入選	小笠原恒子	黒石
同	岡林泰子	川口南
同	三谷和子	東寺内
同	鍵山佳代	馬瀬
同	飯田和子	大王下
同	石原延	東土居
同	秋山和子	大王下

☆写真の部
特選 岡本淳

穴内三



特選「春の夜」 西村佳子・書

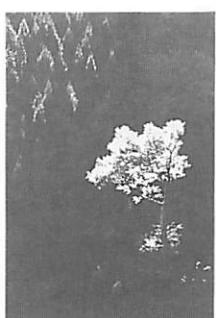
褒状	松浦美恵	東寺内
入選	豊永幸利②	落合
同	萩野世喜子	久寿軒
同	和田文一	杉
同	吉田臣代	高須
同	和田幸尾	黒石
同	横山 豊	高須

同	岡本淳	穴内三
同	朝比奈富美男	高須
同	山原美砂③	大田口

☆彫塑・工芸の部



特選「觀音仁王」
釣井義光・作

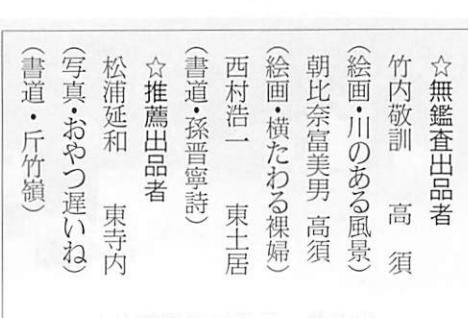


特選「光彩」 岡本淳・写

褒状	釣井義光	栗生
入選	三谷晴喜	大畠井
同	朝比奈富美男	高須
同	門田勝喜②	杉
同	楠島富士子	東土居
同	秋山 花	高須
同	三谷晴喜	川口南
同	西山千鶴②	大畠井
同	佐々木益子②	穴 内

同	岡本淳	穴内三
同	朝比奈富美男	高須
同	丁野志げ野	日 浦
同	浜田豊高	柳野
同	北村睦枝	久生野
同	山本桂	庵谷

☆絵画の部



☆無鑑査出品者
竹内敬訓 高須
(絵画・川のある風景)
朝比奈富美男 高須
(絵画・横たわる裸婦)
西村浩一 東土居
(書道・孫晋寧詩)

☆推薦出品者
松浦延和 東土居
(写真・おやつ迷いね)
(書道・斤竹領)

なお、この嶺北総合美術展入選作品は、嶺北五ヶ町村を巡回展示されます。
大豊町での展示は、十二月四日から八日まで、農工センターに展示しますので、ぜひご覧下さい。

親と子の対話を大切に・地域ぐるみで健全育成 「育てよう 心ゆたかな おおとよの子」

青少年問題などについてのご相談やお気づきの事がありましたらお気軽に「大豊町少年育成センター」にご連絡下さい。

大豊町青少年育成会議・少年育成センター（☎72-0094）

立川小学校最後の運動会

川口小学校友情応援



ピエロになれるかな



川口・立川地区民も大勢参加



北山君優勝旗の返還

現在、立川小学校の児童数は六年生の北山寛幸君一名で、来春の入学児童がないため、同校最後の大運動会が、四日前九時三十分より盛大に行われました。

開会式では、村岡校長先生の挨拶の後、北山君が「僕にとって、立川小学校にとっても、最後の運動会です。元気いっぱいガンバります」と開会の言葉。

立川地区民百人余りも参加。また、町外に住む同校の卒業生なども訪れ、惜しみながら各競技に出席。最後の運動会に花を添えていました。

近年、立川校下は人口の減少が著しく、学校だけの運動会等ができないため、秋には川口校下との交流を兼ねた「交流運動会」が行われています。

この日も、川口校下からは（川口小学校藤本校長・児童十四名やPTA・老人クラブなど、三世代あわせての友情参加、川口小児童十四名と北山君の十五名が紅白に分かれ立川小学校の歴史に残る大運動会となりました。



川口小・組立体操



北山君、元気に障害物リレー



校長先生も飛び箱がわり



木車に乗り童心にかえる
川口地区公民館長

町民体育祭

11月8日・農村広場

多くの参加をお願いします

大豊町地区公民館長協議会



モチを口にガンバル立川地区公民館長

秋晴れの県民体育大会

大豊選手団 60名参加

さわやかな秋空の下、第三

十回県民体育大会が二十七日
春野運動公園を中心に十四会

場で行われました。



県体・選手宣誓（春野運動公園）

県婦人スポーツ大会

大豊町町連合婦人会大活躍



今年もガンバリました連合婦人会

本町からは、六種目（ゲ
トボール二チーム・バレーボ
ール・ソフトボール青年男子
一般男子・クレー射撃・弓道
・陸上）六十名の選手が出
場、陸上走り高飛びの部では
岩原の岡崎春男君が、一メー
トル九五センチを飛び優勝す
るなど、それぞれ種目で健闘
し立派な成績を収めました。



押さえ込み一本

第14回県少年柔道練成大会

県下各地から26チームが参加



小学生の基本技練成



柔道大会開会式・大杉中体育馆

大豊町体育会主催「第十四回県下少年柔道練成大会」が十月十一日、大杉中学校体育馆で開かれました。
午前九時県下各地の少年柔道クラブや各中学校の柔道部などから、選手三七〇名・二十六チームが集合。
渡辺充泰町体育会会长が、柔道の基本を守りケガのないようガンバッて下さいと挨拶、大会は小学生の柔道練成に始まり元気いっぱいの熱戦が繰り広げられました。
この大会も十四回を数え、応援のお父さん・お母さん・チビッ子選手で六百人を越す県下でも有数の大きな大会となりました。

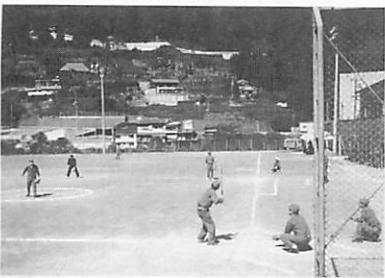
◎大豊出場選手成績			
個人戦小学五年生の部			
第三位	泉 浩一	大杉小	個人戦中学女子52kg級
第一位	佐々木真野	大杉中	個人戦中学女子56kg級
第三位	長野 幸	大杉中	

例年のことですが、本年も大豊の婦人会員のパワーが全開、綱引きでは、二位になるなど、（昨年は一位）参加者一大致団結しガンバリました。

尚、佐々木真野さん（中学二年生）は、先頃開かれた四国中学校柔道選手権大会に於いても、みごと個人戦・第三位の成績を収めており、真野さんの将来ますますの活躍が期待されています。

嶺北消防団連合会主催「秋季連合演習・板送り大会」が八月二十三日、土佐町ふれあい広場にて行われました。

この板送り大会は、昔から消防団の伝統的な競技の一つですが、現在は二年に一度開かれ、嶺北五ヶ町村の消防団員が日頃の訓練の成果と団員の士気を高める場として行われています。



町消防団ソフトボール大会

東部分団・大久保部がB組の部で準優勝・岩原部が第四位となりました。

第27回板送り大会

つたワイヤーに直径三十六cmの円盤を通し、各分団十一人の選手が両側からの力を打ち合

うもので、指揮者と選手の呼吸・迅速な行動・機械器具の扱いが勝敗を左右します。

本町では、嶺北大会に向けて八月に予選大会を計画していましたが、台風等の影響により、本町での予選ができず、各部とも練習不足ながら参加各チームとも、日頃の成果を発揮していました。

大豊町出場分団上位の結果

となりました。



嶺北消防大会一斉放水

「死亡事故多発」

秋の交通安全週間も終わりましたが、本年度も県下では、死亡事故が多発しており、官民上げて「交通事故防止」に取り組んでいます。

九月二十一日、橋本県知事より、渡辺町長に対し「交通安全メッセージ」の伝達がありました。

『交通安全メッセージ』

交通事故のない安全な郷土づくりは、県民みんなの願いであります。貴職をはじめ関係機関・団体のご協力を得まして、県民総ぐるみで取り組んでいるところであります。悲惨な交通事故は後を絶ちません。

今年の事故の特徴は、高齢者が亡くなる事故及び若年者による自動車や二輪車を運転中の事故が多発していることが挙げられています。

その原因を見てみると、前方不注意や交差点で安全を確かめなかつたといった基本ルールを守られていないかつたケースが最も多くなっています。

また、本県を取り巻く交通情勢は、車両や免許人口の増加に加え、高速道路網の進展、レジャー圏の広域化、高齢化の進行などから今後一層厳しさを増すものと考えられます。

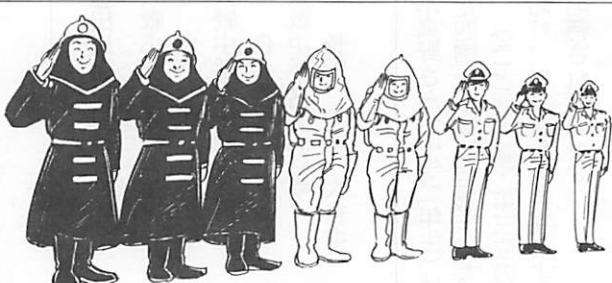
貴職におかれましても、これらの厳しい状況に対処するため、住民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図るなど、地域の実情に即した交通安全対策を強力に推進されますよう切望する次第です。

平成四年九月二十一日

大豊町長 渡辺盛男殿
高知県知事 橋本大二郎

■秋の全国火災予防運動
— 11月9~15日 —

点検を重ねて築く
“火災ゼロ”



西峰中学校新築



西峰中学校も、近年老朽化が著しく危険校舎に指定され建築が急がれていますが、このほど建築が決まり、九月十四日、渡辺町長・山本校長・地元関係者ら七十名余りが出席し起工式が行われました。新築校舎は、西峰小学校に隣接して建てられます。

◎建築の概要
総工費 一億二百七十九万四千円
構造 木造二階建
建面積 1階35m² 2階344m²
設計者 ながの建築設計事務所

農業者年金には、「農民にもサラリーマン並みの年金を」という農業者の方々の強い要望を受けて、農業者の老後生活の安定と、農業経営の若返りや規模拡大を図るために作られた年金です。
現在、農業者年金に加入しておられる方は約五十七万人、経営移譲年金や農業者老人年金を受けておられる方々は約六十八万人を超え、一年間に支払われる年金総額は二十四百億円にも達しております。

農業者年金制度は、これまで、県展や嶺北展等に数々の作品を出品し、獨特なタッチと、その創造力で知られ高く評価されています。

今回で県展入選七回（洋画ラフィックデザイン一回）を数え、ベテランの域に達した大豊町の芸術家です。

農業者年金は、国の法律に基づき、将来の年金支給が保証されております。しかも他の年金には例のない七割を超える高率の国庫補助がありま

す。

また、農業者年金制度は、農業者の老後保障のほか、若い農業経営主の確保、農地の細分化防止、農業経営の規模拡大という構造政策上の原点的役割を果たす政策年金として、大きな役割を果たしてきました。

他方、個人年金や国民年金などの民間の年金は、こうした措置がとられていませんので、物価が上昇すればその分年金額は目減りします。こういう点が民間の行っている個人年金と異なる点であり有利となっています。

農業者老齢年金とは農業者年金の保険料納付済期間が二十年以上ある人が、六十五歳までに経営移譲をしなかつた場合に、六十五歳から終身受けられる年金です。

またも県展入選二点
朝比奈富美男氏
(高須)



今回の入選作品（洋画の部）

またも県展入選二点
朝比奈富美男氏
(高須)

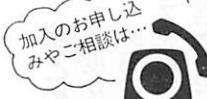
農業者年金は、「農民にもサラリーマン並みの年金を」という農業者の方々の強い要望を受けて、農業者の老後生活の安定と、農業経営の若返りや規模拡大を図るために作られた年金です。

農業者年金の保険料納付済期間が二十年以上ある人が、六十五歳までに自分名義の農地等を後継者が第三者に譲るか貸し付けたり、売り渡したりして農業経営をやめた場合に、終身受けられる年金です。この場合、経営移譲したときの相手方が農業者年金の被保険者であれば、加算の付いた年金（加算付年金）が支給され、サラリーマン後継者等であれば、加算の付かない年金（基本額年金）が支給されます。



年金と農業者老齢年金の二種類があり、その内容は次のとおりです。

経営移譲年金とは



農業委員会へ
農業協同組合

農業者老齢年金とは農業者年金の保険料納付済期間が二十年以上ある人が、六十五歳までに経営移譲をしなかつた場合に、六十五歳から終身受けられる年金です。



三嶺山頂にて（9月20日）

高知の山々を登つてみませんか、と「軽登山に耐えられる健康な方」を対象に募集したところ、定員を越す方々から申込がありました。が、残念ながら町バスの定員などもあり、今回は二十五名の方々に参加をして頂きました。

参加者の中には、子供の頃家から見える山々の中で一段とそびえる「三嶺」に一度登つて見たいと参加された方もいます。

生涯学習課では、皆様方のニーズにそつた事業を、今後も企画して参ります。

戦後強制抑留者の皆様へ

——請求はお済みですか——

平和祈念事業特別基金（総理府所管の認可法人）では、戦後、旧ソ連またはモンゴルの地域において強制抑留された方、またはそのご遺族に内閣総理大臣名の慰労品（書状・銀杯）を贈呈しております。また、これらの方々のうち、年金恩給や公務員の共済年金などを受給されていない方には、更に慰労金（10万円）が支給されます。

なお、請求期限は平成5年3月31日までです。

〔請求書類の送付先・お問い合わせ先〕

〒112 東京都文京区大塚5-3-13

平和祈念事業特別基金 業務第2課 ☎03-3945-4703・4707

なお、請求書類は、大豊町役場住民課福祉班 ☎72--0450にあります。

☆人権週間・人権の尊重を☆

みなさん「12月4日から10日までは、第44回目の人権週間」です

基本的人権は、我々の祖先が貴重な努力を積み重ねて獲得したものであり、国民の1人ひとりが努力して守り育てていかねばならない権利です。

高知県地方法務局と高知県人権擁護委員連合会では、今年の人権週間に当たって、次の6つを強調事項として積極的に啓発活動を展開していくこととなりました。

- | | |
|--------------------------|------------------|
| (1)国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう。 | (2)部落差別をなくそう。 |
| (3)いじめ、体罰の根を絶とう。 | (4)女性の地位を高めよう。 |
| (5)障害者の完全参加と平等を実現しよう。 | (6)高齢者の人権を尊重しよう。 |

差別をなくすことは、私たち1人1人の努めです。差別される人々の苦しみ、悲しみ、心の痛みを真剣に考えまた、差別をすることは、恥すべきことであるとの認識をしっかり身につけ、お互いに人権を尊重しあう社会を実現するために努力をしましょう。

○大豊町の人権擁護委員は、「上村芳郎(川井) ☎74-0483・大家正仁(東土居) ☎75-0855・岡本修二(穴内三) ☎73-0007」の3名の方々です。秘密事項等固く守りますので、お気軽にご相談下さい。(相談は無料)

七
ま
じ
ニ
句
会
作品抄

父に付く木屑炎天のかがみ腰

三谷幸正

月光のうるうる過ぎる蚕飼屋

PKO出發すすきが首を振る

杉本賀美

お大師様と夏の岬の母の杖

吉川邦子

切り出せぬ好きの一言辭の力

猪野義晴

函館朝市カ二売り女の繁盛期

秋山良恵

人減つて案山子が峠を一人占め

松浦美惠

なかなかに無欲になれず花

花合歎や一病増すや飲みぐす

小笠原恒子

地下足袋の裏より伝ふ早かな

渡辺茂子

蝉涼し願布の色を重ね吊り

久保政子

甕乾く一雨欲しき加子の花

小笠原喜水

星逢ひや術後の夫の浅眠り

小川みや

草刈女憩ふ合図の鍊を振る

ツ手
月 下 美 人 そ の 一 瞬 も み ら ぶ り

と

長 野 と し え

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 義 晴

函 館 朝 市 カ 二 売 り 女 の 繁 盛 期

秋 山 良 恵

人 減 つ て 案 山 子 が 峠 を 一 人 占 め

松 浦 美 惠

な か な か に 無 欲 に な れ ず 花

花 合 歎 や 一 病 増 す や 飲み ぐ す

小 笠 原 恒 子

石 原 の ぶ

地 下 足 袋 の 裏 よ り 伝 ふ 早 か な

渡 辺 茂 子

蝉 涼 し 諸 布 の 色 を 重 ね 吊 り

久 保 政 子

甕 乾 く 一 雨 欲 し き 加 子 の 花

小 笠 原 喜 水

星 逢 ひ や 術 後 の 夫 の 浅 眠 り

小 川 み や

草 刈 女 憩 ふ 合 図 の 鍊 を 振 る

吉 川 邦 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

猪 野 義 晴

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞 の 力

猪 野 幸 博

月 光 の う る う る 過 ぎ る 蚕 飼 小

徳 弘 妙 子

お 大 師 様 と 夏 の 岬 の 母 の 杖

吉 川 邦 子

か り 出 せ ん ぬ 好 き の 一 言 辞

お誕生おめでとうございます

◎平成4年8月1日～4年9月30日までの受付(8名)	出生児	生年月日	性
大石諒	朝倉相美	8月7日	男
林直樹	美濃千佳	8月22日	女
三谷理志	桑名賀重	8月24日	男
林和樹	前田閑之	9月15日	女
都築長年	桑名賀重	9月9日	男
釣井育美	都築長年	9月5日	女
上村千鶴	前田閑之	8月31日	男
平石代志美	桑名賀重	8月24日	女
小笠原秀喜	都築長年	8月18日	男
上村春高	前田閑之	8月11日	女
都築良宏	桑名賀重	8月10日	男
西峰三谷	桑名賀重	9月22日	女
西峰三谷	桑名賀重	9月20日	男
西峰三谷	桑名賀重	9月18日	女
西峰三谷	桑名賀重	9月5日	男
西峰三谷	桑名賀重	9月28日	女

ご冥福をお祈りいたします

◎平成4年8月1日～4年9月30日までの受付(10名)

氏名	死亡月日	年齢	部落
釣井育美	8月10日	56歳	穴内二
都築長年	8月11日	80歳	杉
上村千鶴	8月18日	88歳	西久保
平石代志美	8月24日	56歳	野々屋
小笠原秀喜	8月31日	80歳	桃源屋
上村春高	9月5日	75歳	立木屋
都築良宏	9月18日	81歳	中野屋
西峰三谷	9月22日	75歳	西峰三谷
桑名賀重	9月28日	82歳	西峰三谷
前田閑之	9月28日	54歳	西峰三谷



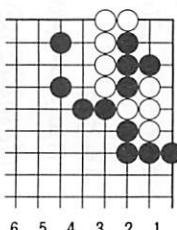
たばこ税は
暮らしの中に生かれています

●たばこは地元で買いましょう。



詰碁 基

出題 十段 武宮正樹
●ヒント：四子の捨てかたに工夫を。
3分で1級、1分以内で有段

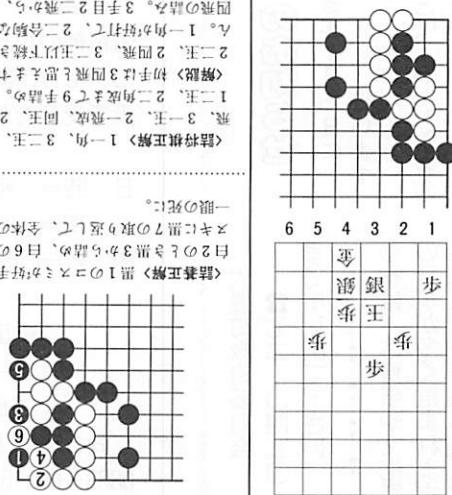


出題 八段 北村昌男
●ヒント：持駒三枚のなかで、香は最後に使います。最初は？
10分で3級、4分で初段



有段を目指して

出題 十段 武宮正樹
●ヒント：手順工夫。
黒先自死、7手まで





11月は 「雇用保険“さわやか受給”推進月間です」

—雇用保険制度を正しく理解していただき、不正受給を防止するための啓発月間です。—

雇用保険制度の失業給付は、労働者が失業したときの生活の安定と再就職の促進を図ることを目的とした制度です。

しかし、この制度を利用する一部の者で失業給付金を不正に受給するという事例が後を絶ちません。

このような不正行為は、社会的公正を欠くとともに保険財政にも悪影響を及ぼします。そこで労働省においては、雇用保険制度を正しく運用するため11月を「雇用保険“さわやか受給”推進月間」と定め、広報活動及び不正受給の防止、摘発活動に努めています。
=高知県雇用保険課・ハローワーク(公共職業安定所)=

※高知県定住促進マイホーム資金貸付制度
省内に住宅を取得するため、住宅金融公庫の融資を利用したうえでさらに資金が必要な方が対象となります。

県の融資制度の活用でマイホームの取得を

一般分	400万	限度額	期間
定住促進分	500万	5.1%	5.5%
			25年以内
			△

- ◇定住促進分とは、県外から転入していく(予定の方や省内に住民票を移してから3年以内の方が対象となります)
- ◇手続きは、住宅金融公庫融資の申込と同時に行います
- ※件数の枠、取扱金融機関が決まっています
- るので留意してください

制度についての問い合わせは

TEL 0888-23-9856まで

高知県土木部住宅課企画班

高知県最低賃金「平成4年10月1日」効力発生

改正後=日額 4,150円	時間額 520円
改正後=日額 3,981円	時間額 498円

高知地方最低賃金審議会の答申に基づき「高知県最低賃金」を改正し平成4年10月1日から、県下の事業場で働くすべての労働者(臨時・パートタイマー・アルバイトを含む)及び使用者に適用されます。

また、新産業別最低賃金である「電子応用装置、電子機器用、通信機器用部分品製造業」及び「一般貨物自動車運送業」の二業種の最低賃金については、高知地方最低賃金審議会において改正審議が進められています。

高知労働基準局

成人式のお知らせ

平成5年1月15日に

行います

大豊町では、成人対象者の名簿を作成しています。

本町の住民基本台帳(住民票)に基づいて作成しますが、ご家族の中で就職や進学等のため、町外に住所を移されている方で、町の成人式に出席を希望される方は、

大豊町教育委員会

まで申し出て下さい。

◎秋は、体育祭や文化祭等々の行事が多く組まれますが、参加することも「生涯学習」の一つです。

が、各行事に多くの方々の参加をお願いします。

館長

四国矯正展(高知会場)のお知らせ

社会復帰への願いをこめて、社会生活に必要な勤労精神のかん養と職業的技能及び知識の習得のために、毎日作業に励んでいる全国74の刑務所等行刑施設で受刑者が、製作した作業製品を展示即売します。

記

日 時= 平成4年11月15日(日) 9時~14時

場 所= 高知刑務所 高知市布師田3604-1

内 容= 矯正資料コーナー(収容者の文芸作品等の展示)

矯正教育の現状等をVTR紹介・即売コーナー(木工製品・工芸品・漆器製品・革製品・食品類等多数の製品を展示即売)

尚、矯正展等お問い合わせは、「高知刑務所 0888-66-5454」